

# 鹿児島における地球温暖化対策の取り組み

## 1. はじめに

地球温暖化は、その予想される影響の大きさや深刻さから考えて、人類の生存基盤に関わる最も重要な環境問題であり、地球温暖化を防止することは、人類共通の課題です。

鹿児島県は、南北約600kmにもおよぶ広大な県土に、多くの島々や美しい海岸線を有し、桜島や霧島、世界自然遺産として登録された屋久島、亜熱帯の奄美の島々など、豊かで多様な自然環境に恵まれています。

鹿児島県では、これらのかけがえのない自然環境を将来の世代に確実に引き継ぎ、現在及び将来の県民の健康で文化的な生活の確保に寄与するとともに、地球を守る低炭素社会の実現に貢献していくため、「鹿児島県地球温暖化対策推進条例」を平成22年4月に施行し、地球温暖化対策のさらなる推進を図っているところです。

以下に、鹿児島における地球温暖化対策の取り組み事例について紹介します。

## 2. 屋久島CO<sub>2</sub>フリーの島づくり

平成5年に日本で初めて世界自然遺産に登録された屋久島においては、島内の電力のほとんどが豊富な水を利用し、二酸化炭素を排出しない水力発電でまかなわれています。県ではこのような地域特性に着目し、屋久島を地球環境に優しい低炭素社会づくりのモデル地域として、石油やガスなどの化石燃料に頼らない、二酸化炭素の発生を抑えた先進的な地域づくりを進めています。

平成21年度においては、有識者による「屋久島CO<sub>2</sub>フリーの島づくり研究会」や地元関係者等による「屋久島低炭素社会地域づくり協議会」を開催し、電気自動車の普及促進や日常生活を通じた二酸化炭素の削減方策等について意見交換を行いました。また、運輸部門からの二酸化炭素排出を

削減するため、県屋久島事務所に公用電気自動車5台、島内2箇所に急速充電設備の導入や、住民を対象とした講演会・試乗会の開催に取り組みとともに、平成22年度においては、新たに電気自動車や電気自動車用充電器の導入助成、電気自動車を利用した観光プランの開発などに積極的に取り組んでいます。

## 3. 市電軌道敷の緑化

鹿児島市においては、平成18年度から全国初となる本格的な市電軌道敷の緑化整備を進めており、平成24年度末までに道路との併用軌道区間約8.9km（芝生面積約3万㎡）を緑化することとしています。平成21年度末現在においては、約4.8km（芝生面積約1.8万㎡）の区間が完成しています。

日陰部がほとんど無い軌道敷では、芝への水分補給（保水）が課題でしたが、客土内に県内に広く分布する火山噴出物の一種であるシラスを原材料として活用した保水性の高い緑化基盤ブロックを設置することにより解決しています。

軌道敷緑化整備を進めたことにより、ヒートアイランド現象の緩和や沿線の騒音の低減をはじめ、



写真-1 市電軌道敷の緑化

鹿兒島県知事 伊藤 祐一郎



芝生化による新たな都市景観の創出などの効果が表れています。

鹿兒島市では、併用軌道敷緑化の全線完成により、全国に誇れる都市景観が形成され周遊性がさらに向上し、中心市街地の活性化や人と環境にやさしい魅力あふれるまちづくりを推進することとしています。

#### 4. 「花かごしま2011」

鹿兒島県及び鹿兒島市では、第28回全国都市緑化かごしまフェア「花かごしま2011」を、平成23年3月の九州新幹線鹿兒島ルートの新線開業に合わせ、3月18日から5月22日の66日間、鹿兒島市を中心に開催することとしています。

「かごしまフェア」においては、「南からの風にのせて！～よかまち、よか花、よか緑～」をテーマに、『人と環境にやさしい「かごしまづくり」を提案するフェア』として、県民一人ひとりが環境への高い意識を持ち、豊かな環境を確実に継承していくための契機となることを、開催方針の一つとして掲げています。

「かごしまフェア」における環境配慮の取り組みとしては、

- ①鹿兒島の地で自然と共生しながら育まれてきた「農」を取り巻く豊かな生活スタイル かごしまスローライフガーデン「暮らしの庭」の展示
- ②エコライフの提案や環境系の資材を取り入れた「エコライフガーデン」やベランダ菜園やバルコニーの緑化方法を提案する「ベランダ・バルコニーガーデン」などの出展庭園の展示
- ③ゴーヤ、あさがお、ヘチマ等のつる性植物で作る「緑のカーテン」に取り組んでいる個人、グループ等の写真応募による「緑のカーテンコンテスト」(写真-2)
- ④会場と鹿兒島市内の臨時駐車場や主要交通ター

ミナルをシャトルバスや公共交通機関で結ぶパーク&ライド方式による交通輸送などを実施することとしています。

また、会場整備のみならず、各種行事等や会場運営など、フェア全体として環境問題を考え、当県の豊かな自然環境を継承していく契機となるよう努めていきたいと思



写真-2 「緑のカーテンコンテスト」

るよう努めていきたいと思

#### 5. おわりに

鹿兒島県では、地球温暖化対策を総合的かつ計画的に推進するため、「鹿兒島県地球温暖化対策推進条例」に基づき、温室効果ガスの排出抑制に関する中長期的な目標や目標達成のために必要な施策を盛り込んだ「地球温暖化対策実行計画」を平成22年度に策定することとしており、今後とも、効果的な地球温暖化対策を推進してまいりたいと考えています。

終わりに、「花かごしま2011」では、街を花で彩り観光客を迎えることとしており、会場では約900種類・110万本で一大花絵巻を展開するとともに、新品種のバラ「篤姫ローズ」の披露など、魅力ある演出を企画しておりますので、多くの皆様のご来場をお待ちしております。